

図書館だより

ビジネス支援サービスをご存知ですか？

三島市立図書館の「ビジネス支援」とは、起業家や経営者だけでなく、働いている人・これから働く人の、将来設計・求職・仕事・生活全般に必要な情報を提供する、「生活支援」です。

<ビジネス支援資料の例>

- 新聞 日経新聞、地域新聞等19紙
雑誌 『会社四季報』、『東洋経済』、『日経マネー』等
郷土資料 各種統計、『静岡県会社要覧』『静岡県を支える企業群』等
一般図書 『業種別業界情報』 中小企業動向調査会 編著
『税金のすべてがわかる本 個人と会社払う税金、払わなくていい税金のポイント』 雨宮雅夫 編著
『2005年版成功するEメール、エントリーシート、履歴書、手紙、電話』 成美堂出版編集部 編
『ネットのパン屋で成功しました』 田中明子 著
『農で起業する!』 杉山経昌 著
パンフレット 中小企業庁や県内他機関発行のもの等多数
データベース 「日経テレコン」「G-Search」「朝日新聞聞蔵」「法庫」「官報情報検索サービス」(これらは職員が代わりにお調べします)

また、本館にはインターネット専用パソコンを用意していますので、図書館の資料と併せてインターネット上の情報を探すことができます。図書館の資料を利用しながらご自分のパソコンを使える席もございます。詳細は図書館本館へお電話ください。

(ホームページでもご案内しています。http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/)

図書館には様々な分野の情報がたくさんあります。上手に利用して、みなさんの生活にお役立て下さい。

本町プラザ「ふるさと歴史文学コーナー」より

「ふるさと歴史文学コーナー」(「三島本町タワー」4階)では、三島にゆかりのある文学者の紹介や関連資料などの展示をしています。ぜひお立寄りください。

8月1日から、パネルで紹介する人物をご案内します。

(コーナーの見学は無料です。)

村上豊……三島市出身の画家で、絵本、さしえの作品により、多くの賞を受賞している。

宗祇……室町時代の連歌師、古典学者で、古今伝授(「古今和歌集」の解釈を授けること)を三島で受ける。

穂積忠……伊豆の国市出身の歌人、三島で教鞭をとりながら、歌人として活躍する。

図書館文学講座

日本文学・外国文学・ふるさと文学の作家や作品について
楽しみながら教養を深める講座です。申込み不要・無料です。
是非ご参加下さい。



会場：三島市大宮町1-8-38
三島市民生涯学習センター 3階・講義室
時間：各日午後2時から午後4時頃迄

日 時	内 容	講 師
8/13 (土)	三島由紀夫の「仮面の告白」	元日本大学教授・文学博士 藤岡 武雄 先生
8/27 (土)	古典にみる「うつろひ」の精神 -『万葉集』『古今集』の歌を通して- <small>こころ</small>	元日本大学教授 星谷 亜紀 先生
9/10 (土)	江戸漢詩の世界	日本大学教授 小田切 文洋先生
9/24 (土)	ソポクレスの『オイディプス王』を読む	日本大学助教授・精神病理学博士 村上 靖彦 先生
10/8 (土)	シェイクスピア オフェーリアの悲恋と明治文学	日本大学国際関係学部長・博士(国際関係) 佐藤 三武朗先生
10/22 (土)	伊豆と三島を愛した太宰治	静岡県伊豆文学フェスティバル委員 中尾 勇 先生

◇当日は駐車場の混雑が予想されます。なるべく公共の交通機関をご利用ください。

◇急な予定変更の際はご容赦ください。

問い合わせ 三島市立図書館 TEL (055) 983-0880

予約の手続きが簡単になりました

市立図書館にすでに所蔵している資料の貸出予約をカウンターで行う場合、貸出カードを提示していただくだけで手続きができるようになりました。貸出カードを出して、図書館職員に書名、著者名などを伝えてください。リクエストカードへの記入は必要なくなりました。図書館に所蔵がない資料につきましては、従来どおりリクエストカードへの記入をお願いします。

また、所蔵資料がすべて貸出中の場合には、館内の資料検索機、インターネットのホームページ上からも予約ができますのでご利用ください。ただし、この場合は予約順序に従って資料を貸出していますので、上・下巻、1～3巻など続けて順番に読みたい場合には1巻ずつ順番に予約するか、カウンターでお申し込みください。

☆ブックスタートに関するアンケート調査について（中間報告）

三島市では、保健センターで行われている3ヵ月児健康教室に参加するすべての赤ちゃんを対象に絵本や絵本紹介パンフレット等が入ったブックスタートパックをプレゼントし、絵本の読み聞かせなどを通して親子の絆を深めてもらうための、ブックスタート事業を実施しています。



この事業の効果を調査するために、3ヵ月児・1歳6ヵ月児・3歳児の保護者を対象にアンケートを実施しています。今回は平成15年9月～平成16年10月までに回収したアンケート調査の集計から結果を報告します。

このアンケート調査には、日本大学国際関係学部助教授伊坂裕子氏にご協力いただきました。この分析結果を、今後の事業に役立てていきたいと考えています。

1. アンケート調査数

	配布数	回収数	回収率
3ヵ月児健診時	944	220	23.3%
1歳6ヵ月健診時	1,168	919	78.8%
3歳児健診時	1,253	986	78.7%

2. 調査結果（中間報告）

実施したアンケートでは様々な項目を調査していますが、今回は一部を紹介します。読み聞かせを開始した年齢調査では、ブックスタートパックを受け取った1歳6ヵ月児と、受け取っていない3歳児に大きな差がありました。1歳6ヵ月児に関しては、平均開始年齢が6.9ヵ月、3歳児に関しては11.3ヵ月となっています。また3ヵ月児では、パックを受け取った3ヵ月の時に読み聞かせを始めた人が、37%と最も多くなっています。これらのことから、ブックスタートが読み聞かせについての意識を高め、それが読み聞かせ開始の早さに結びついている可能性がうかがえます。

また、それに関連して、読み聞かせ開始年齢が早いと育児ストレスの感じ方が低いという結果も出ました。これは、読み聞かせを早期に始めることによって、子どもとの関係がより良くなり、育児ストレスが低くなると考えられます。

今後、ブックスタートパックを3ヵ月の時点で受け取った子ども達が3歳になるのを待ち、パックを受け取った方と、受け取っていない方の比較をし、より精度の高い分析結果を目指します。

3. アンケートに寄せられた意見

アンケートの自由記述に「ブックスタートパックに入っている絵本を選べるようにしてほしい」というご意見が多く寄せられました。現在、図書館では「いないいないばあ」と「くだもの」2冊の絵本をお渡ししています。この2冊は、すべての赤ちゃんに最初に出会って欲しい絵本として、司書が基本となる2冊を選定しました。しかし、双子や以前に同じ絵本を受け取っている場合等は、違う絵本をお渡しできるよう、数種類の絵本を用意するようにしました。

同じ絵本をお持ちの場合はお気軽にスタッフにお申し出ください。

※ アンケート調査の詳しい内容に関しては、児童コーナーに報告書を置いてありますので、ご覧ください。

いろいろな虫たちを観察してみよう!

まちにまった楽しい夏休みがやってきました。みんなと同じように虫たちも夏が大好き。元気な虫たちが登場する本を読んでみよう!

『だんごむし そらをとぶ』



まつおかたつひで さく しょうがくかん
松岡達英/作 小学館 [E-マツ]

だんごむしの「ぼく」はそらをとんでみたいとおもっていました。するとそこへとんぼのはねがおちてきました。そのはねをつかって「そらとぶマシン」をつくり、そらのたびにでかけます。とちゅう、ゆうだちにあったり、しじゅうからにおいかけられたり…。

『ほたるホテル』

かさこ・G・ストーン/作 ぶくいんかんしよてん
福音館書店 [E-スト]

『むしたちのうんどうかい』

くすみたくや え とくだゆきひさ ぶん どうしんしゃ
久住卓也/絵 得田之久/文 童心社 [E-クス]

『アリからみると』

くりばやしさとし しゅしん くわはらりゅういち ぶん ぶくいんかんしよてん
栗林慧/写真 桑原隆一/文 福音館書店 [TYE-クリ]

『ファール昆虫記』シリーズ (全8巻)

ファール/作 さく おくもとだいさぶろう やく かいせつ しゅうえいしゃ
奥本大三郎/訳・解説 集英社 [486]

『生きものたちのささやき』 - 「博物誌」より -

さく あおやぎひでゆき やく さくほくしゃ
ルナール/作 青柳秀敬/訳 朔北社 [954-ルナ]

おはなし会のお知らせ

図書館では、みなさんに本の楽しさを知ってもらうために「おはなし会」をひらいています。図書館の職員が、絵本や紙芝居を読んだり、手あそび、わらべうたなどを紹介しています。2・3歳のおはなし会は毎週水曜日、4歳から小学生のおはなし会は毎月第3日曜日になっています。お友だちといっしょにあそびに来てね!

すいようび かい
水曜日のおはなし会 (2・3歳むけ)

ひ まいしゅうすいようび
日にち 毎週水曜日
じ かん こぜん し ぶん し
時間 午前10時30分~11時

にちようび かい
日曜日のおはなし会 (4歳~小学生)

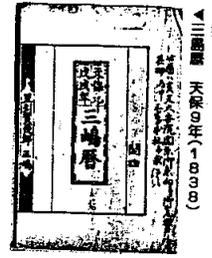
ひ がつ にち がつ にち がつ にち
日にち 8月21日・9月18日・10月16日
じ かん ごご し ぶん し
時間 午後2時~2時30分

● ばしょ ほんかんじどう
場所 本館児童 おはなしコーナー

※申し込みは必要ありません。どなたでも参加できます。

きょうどの本

三嶋曆師の館と三嶋曆



今年の4月29日、三嶋大社の東側（大宮町）に「三嶋曆師の館」がオープンしました。

三嶋曆は、奈良時代の頃、京都の賀茂から移住してきたと言われる曆師の河合家が代々発行し、販売してきた旧曆（太陰太陽曆）で、仮名文字で印刷された曆としては日本で一番古いものと言われています。現存する最古の三嶋曆は、栃木県の足利市にある足利学校所蔵の「周易古写本」の表紙裏から発見された室町時代の永享9年（1437）のものですが、鎌倉時代にはすでに存在していたようです。三嶋大社と大変関係の深い源頼朝は、人心を掌握する手だてとして、この三嶋曆を採用したと言われています。曆には、季節の移り変わり、季節の行事、方角の吉凶など、農作業や商売等、人々の生活にかかわる様々な情報が掲載されています。

こうした頼朝の東国支配の影響もあるのでしょうか、中世から江戸初期の東日本地域のほとんどの曆は、三嶋曆であったと言われています。

現在、「三嶋曆師の館」では、ボランティアの方の案内で、三嶋曆の印刷体験ができます。印刷した「天保15年甲辰年の三嶋曆」を見ると、流れるような美しい活字で、大の月・小の月、方角の吉凶、干支、「啓蟄」「春分」等の二十四節気を読み取ることができ、曆と生活の結びつきを実感できます。

今回は、三島市の貴重な文化財である「三嶋曆」に関連する本の紹介をします。

- 『特別展日本の曆』 三島市郷土館編・刊 [K440 / / ト]
- 『曆ものがたり』 岡田芳朗編 角川書店刊 [K440 / / コ]
- 『三島宿』 三島市郷土資料館編・刊 [K212.3 / / ミ]
- 『静岡県の歴史ごよみ』 杉山元衛著 静岡新聞社刊 [K201 / / シ]

「三嶋曆師の館」に関する問い合わせは下記にお願いします。

三嶋曆の会 ☎ (055) 976-3088

視聴覚コーナーから



視聴覚コーナーにあるCD・ビデオの中には、絵本がもとになっているものがいくつかあります。絵本とは、また違った世界がCD・ビデオからひろがることと思います。どうぞ、児童コーナーの絵本とあわせてご利用ください。

一例として、

CD・・・『日本名作絵本』シリーズより「ごんぎつね」「注文の多い料理店」「赤いろうそくと人魚」等

『世界名作絵本』シリーズより「ハーメルンの笛ふき」「ジャックと豆の木」「ヘンゼルとグレーテル」等

ビデオ・・・『世界絵本箱』（全15巻）シリーズより「スイミー」「すてきな三にんぐみ」「どろんこハリー」等

『かこさとし・おはなしビデオ』（全5巻）

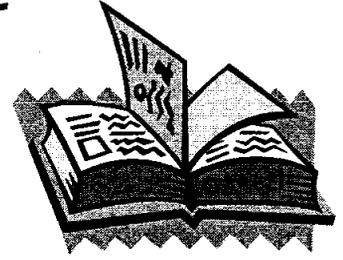
『いわさきちひろ・ビデオ絵本』（全5巻）



などがあります。

この夏休みにご家族で、絵本の世界をCD・ビデオでも味わってみてはいかがでしょうか。

夏季臨時読書室（3階）の利用について



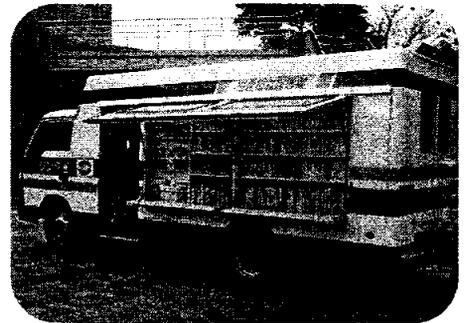
毎年、夏休みになると、視聴覚コーナーの学習室が満室になるため、3階に夏季臨時読書室を7月20日～8月30日まで開設します。

皆さんが気持ちよく利用できるよう、次のことを守ってください。

- * 座席はすべて指定です。開館時間中に視聴覚カウンターで番号札を配布しますので、同じ番号の座席をご利用ください。
- * 室内禁煙で飲食はできません。ごみも各自でお持ち帰りください。
- * 携帯電話は室外で使用してください。
- * パソコン等の持ち込みはお断りしています。
- * 長時間席を離れる場合は、番号札をいったん返却し、各自荷物をお持ちください。（荷物を置いたままにすると、盗難にあうことがありますので、ご注意ください。）
- * 利用できない日(8月1・4・5・6・8・15・22・29・31日)もありますので、ご注意ください。

他の利用者の迷惑にならないよう、静かに利用しましょう。

移動図書館車「ジンタ号」から



移動図書館車「ジンタ号」は、図書館から離れた地域を巡回し、地域の皆様に親しまれておりますが、今回は、その歴史と名前の由来をご紹介します。

1975年（昭和50年）、三島市出身の児童文学者小出正吾氏は、第13回野間児童文芸賞を受賞されました。この賞金を三島市に寄付していただき、これを基に移動図書館車を購入し、この受賞作品「ジンタの音」から「ジンタ号」と命名されました。

小出正吾氏は、1896年（明治30年）三島に生まれ、1927年（昭和2年）最初の童話集「ろばの子」を刊行、以後「太あ坊」「白い雀」「のろまなローラー」等多くの作品を発表し、三島市教育委員長や文化協会会長を努めるなど三島の教育や文化にも尽力しました。

「ジンタの音」は、移動動物園のジンタの楽隊を見た三島の子どもたちが沼津まで見物に行くことなど、子どもを主人公に古きよき時代の三島を舞台にした珠玉の作品です。

以来、子どもと三島をこよなく愛した小出正吾氏の想いをのせて30年、ジンタ号も現在のもので3代目、当初5カ所のステーションの巡回からスタートした移動図書館も、現在は老人ホームや幼稚園、小学校等27カ所のステーションを巡回しております。